

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ビューティーカウンセリング		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	3校舎メイク実習室
担 当 教 員	藤井由美子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
店頭に於けるマナースキル向上について学び、お客様の満足度を高めて信頼されるカウンセラーとなることを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
講義中における挨拶、言葉使い、販売トレーニング話法について評価。 レポート作成・文章作成能力も評価に加える。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
独自のシート作成						
《授業外における学習方法》						
学習した事のまとめ及び所感をレポートで提出。						
《履修に当たっての留意点》						
人間形成の中核となる今多くを、吸収して下さい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	今期の自己目標を作成し意識づけできる	配布資料等	カウンセリングについて 興味を持っておくこと	
		各コマに おける 授業予定	前期授業内容概要説明・これまでに習得したカウンセリングを再 確認			
第2回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	生体の命を司る生体のリズムが女性の健康と肌に強く影響を受 ける事を説明できる	配布資料等	昨年までの復習	
		各コマに おける 授業予定	生体のリズムの概要把握し女性で不可欠なものを確認			
第3回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	1日のリズム(朝・昼・夜)の動き、変化を把握できる・月経周期の 重要性、月経前症候群の対策について説明できる	配布資料等	前回までの復習を行うこ と	
		各コマに おける 授業予定	生体の日内リズムの把握・1ヶ月の女性生体リズムの把握・月経 前症候群			
第4回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各期のメイクアップについてベースづくりとポイントづくりの意味を 理解し実践できる	配布資料等	前回までの復習を行うこ と	
		各コマに おける 授業予定	各期における肌の変化にあわせたメイクアップ			
第5回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	お客様の悩みや、問題点、望んでる内容を聴き出す話法を理解 し対人実習を実践できる	配布資料等	前回までの復習を行うこ と	
		各コマに おける 授業予定	応対における質問話法を体得する①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	ほめ言葉のポイントを理解し対人実習を实践できる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	応対におけるほめ言葉を体得する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	店頭に活用するためのカウンセリングの流れを説明できる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	カウンセリングトレーニング		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングの3大柱(応対マナー、応対話法、褒め言葉)の充実と補足を理解し説明できる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	カウンセリングの3大柱(応対マナー、応対話法、褒め言葉)の充実と補足		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	40～50代の客様には大切な情報を理解し、心配りのできる応対ができるようになる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	生体のリズム 更年期 悠々期		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体のリズムとメイクアップの関係で、変化する肌色に合わせたメイクアップを实践できる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	生体のリズム 応対トレーニング ベース作りからポイントカラーの選び方		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	指名された商品から関連商品を説明し販売個数を増やし、売り上げ向上のスキルを身につけることができる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	アソート販売の手法の習得		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	デモンストレーションを見て、その後自分自身で实践できる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	アソート販売トレーニング		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングに於ける問題点を把握し、修正しレベルアップしたカウンセリングができる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	カウンセリングの再確認		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	質問話法により相手の関心にマッチした褒め言葉を使いカウンセリングができるようになる	配布資料等	前回までの復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	褒め言葉のスキルアップ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	アプローチ～デモンストレーション～クロージングまでを实践できる		グループで意見をまとめておくこと
		各コマにおける授業予定	カウンセリング実技トレーニング		